

～ 学びを地域社会とともに創造し、 成長をともに喜びとする学校をめざします～

京都府立向日が丘支援学校は、乙訓地域で唯一の特別支援学校です。

特別支援学校は、障害のある児童生徒が、共生社会の担い手として社会に貢献し、自分らしく幸せな人生を送っていくための力を身につけるために学んでいる学校です。「子どもたちが勉強する場所」という意味では、小学校、中学校、高等学校などと何一つ違いはありません。

本校には、小学部、中学部、高等部が設置され、対象とする障害は、知的障害、肢体不自由です。

入学には、障害者手帳の有無は問いませんが、特別支援学校のカリキュラムは、他の学校とは異なりますので、卒業後に企業就労や福祉就労の中で、自分のもてる力を精一杯発揮して働くこととなります。

全ての児童生徒がもてる可能性を最大限に伸ばすことができるように、私たちは「より良い授業づくり」に全校で取り組んでいます。そして、児童生徒の成長を地域社会のたくさんの方々とともに喜びたいと考えています。

	長岡京市	向日市	大山崎町	合計
小学部	21	18	6	45
中学部	25	18	3	46
高等部	37	23	6	66
合計	83	59	15	157

令和元年度 児童生徒数



むこうがおかフェスタ

4月	始業式4/8、入学式4/9
5月	家庭訪問、修学旅行(小)
6月	学校説明会(学部別)、宿泊学習
7月	終業式7/19
8月	始業式8/26
9月	ふれあい・心のステーション
10月	修学旅行(中・高)
11月	むこうがおかフェスタ(11/7~11/9)
12月	終業式12/20
1月	始業式1/8
2月	入学説明会
3月	卒業式、修了式3/19

主な行事

小学部 学びとふれあいの楽しさに出会う

小学部は、学校教育のスタートとして、学習や生活の基礎的な力を伸ばしていくことを大切にしている学部です。
各教科等を合わせた指導の「遊びの指導」と「生活単元学習」を中心に、「自分からやってみよう」「楽しい」「もっとしてみたい」という気持ちを育て、学習に対する意欲を育てていきます。
コミュニケーションの力をつけるために、校内、地域社会にも授業の範囲を広げ、多くの人の関わりが喜びとなるような学習にも積極的に取り組んでいます。



体育



生活単元学習



遊びの指導

中学部 人との結びつきや関わりを広げ、可能性を広げる



特別活動(校外学習)



生活単元学習



生活単元学習

中学部は、思春期における様々な変化とうまく付き合い、中学生らしさや自分らしさを大切に、大きく成長する学部です。
わかる・できるという手応えから、わかったことやできたことをいろいろな場面で発揮する意欲につなげ、学校教育目標を実現する授業を実施します。「生活単元学習」を中心に、地域社会と連携協働した授業を積極的に展開します。地域社会のなかで人との結びつきや関わりを広げ、自分のもてる力や可能性を最大限発揮します。また、集団の中での役割や責任等、進路を見据えた観点を大切にしながら、「今」を大切に、共生社会の担い手を育てます。

高等部 地域とともに生きていく力を培う

高等部では、卒業後の「自立と社会参加」に向けて小・中部や小・中学校で培ってきた力を基盤に、希望進路の実現をめざすとともに、地域社会への貢献に必要な力をさらに充実・発展させることを大切にします。
「生活単元学習」や「総合的な探究の時間」を中心に、地域社会の中での活動や地域社会との交流を大切に取組を進めます。
また、「作業学習」や「自立活動」を中心に、「生き生きと働いたり、生活したりできる力」「自ら考えて行動できる力」を育むことを大切に学習を進めます。



地域講師を招いた作業学習



障がい者スポーツ協会との交流



進路実習



生活単元学習

卒業後の進路

	H26	H27	H28	H29	H30	合計
生活介護	3	6	5	1	3	18
就労移行		2	3	2	1	8
就労継続A	3	4	2	5	1	15
就労継続B	2	7	7	9	3	28
地域生活支援			1	1	1	3
自立訓練	2		1	1	1	5
企業就職	6	2	4	2	2	16
進学			3			3
施設入所	2					2
その他(訓練校等)	1		2	2	1	6
合計	19	21	28	23	13	104

寄宿舎

本校は、元々非常に広い校区をもっていたことから寄宿舎が設置されています。現在は、「心身の障害の状況により通学が困難な人」を対象に、授業日に開設しています。

寄宿舎では、年齢に幅のある集団を作り、互いの関わりを大切にしながら規律ある主体的な生活を送れるよう、支援しています。